愛島地区防災マニュアル

～自分たちの地域を自分たちで守ろう～

“いざというとき„のために“今こそ„備えましょう

１．はじめに……1
２．愛島地区の概要……1
３．過去の災害……2
４．愛島地区の災害対応……3
５．愛島地区の災害予防……9
６．愛島地区防災マップ……13
７．マイ・タイムラインシート……19
８．名取市からの情報とさまざまな情報の入手先……20
９．我が家の防災メモ・防災カード……23
裏表紙　愛島地区の避難場所など

ひもを通して目立つところにおきましょう

家族で定期的に確認しましょう

名　取　市　・　愛　島　地　区

令和４年（2022 年）４月

1．はじめに

名取市では、平成 25 年（2013 年）12 月に東日本大震災の教訓や豪雨災害の経験を踏まえて作成した「名取市民防災マニュアル」に新たな知見や情報を加え、令和 2 年（2020 年）9 月に新しい「名取市民防災マニュアル」を作成し、全世帯に配布しました。また、平成 28 年（2016 年）4 月に、大規模災害による被害を軽減するためには、地域の実情に応じた防災対策を、名取市と地域の皆さんが一体となって実践していくことが重要と考え、市と地域の方々とで作成した「愛島地区防災マニュアル」を配布しました。

このマニュアルを踏まえ、再び地域の方々に協力いただき、最新の防災に関する基準などを加えて「愛島地区防災マニュアル」を作成しました。

2．愛島地区の概要

地形・地勢

- 愛島地区は、面積が約23.7km^{2}で、東西に約7.8km、南北に約4.5km です。
- 地区内には川内沢川と志賀沢川が流れています。
- 標高は、平野部で約2～18m であり、洪水による浸水の可能性があります。愛の杜・愛島郷では約10～30m、愛島台では約55～145m であり、丘陵地帯のため、土砂災害の危険箇所があります。

世帯・人口

- 愛島地区は、3,265世帯、9,580人が住んでいます。
- 愛島地区は、愛島台や愛の杜、愛島郷の団地があり、名取市全体と比べて、65歳以上人口の割合が比較的少なく、15歳未満人口が多い地区です。

	世帯数（世帯）	人口（人）			年代別人口（人）		
		男	女	合計	15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上
愛島地区	3,265	4,738	4,842	9,580	1,918	5,911	1,751
名取市全体	32,305	39,014	40,402	79,416	11,876	48,834	18,706

令和４年（2022 年）１月末現在

3．過去の災害

災害名称及び 災害発生年月日	災害による被害状況
宮城県沖地震 昭和 53 年(1978 年) 6月 12 日 **（仙台市で震度５）**	ブロック塀の倒壊などによる死者、建物被害による多くの負傷者が発生し、都市ガスなどライフラインが停止しました。 名取市では、負傷者 200 人、全壊 17 棟、半壊 61 棟、一部損壊 1,623 棟の被害がありました。 法面の崩壊※1 （仙台高等専門学校南側）
8・5 豪雨 昭和 61 年(1986 年) 8月5日 **（累計雨量 400 mm）**	台風 10 号の進路に、海上から多量の水分を含む東風が吹き込んだことにより、宮城県で記録的な豪雨となりました。 名取市では、軽傷２人、全壊１棟、一部損壊 10 棟、床上浸水 310 棟、床下浸水 1,410 棟の被害がありました。 愛島地区では、全壊１棟、一部損壊１棟、床上浸水７世帯、床下浸水 110 世帯の被害がありました。裏山の崩壊、土砂崩れなどが発生し、建物や作業場の被害が発生しました。 建物の浸水※1 （旧愛島公民館）
9・22 集中豪雨 平成６年（1994 年） 9月 22 日 **（時間雨量 84 mm 、累計雨量 478 mm）**	樽水ダムが満水となり、増田川がはん濫したほか、川内沢川、志賀沢川などの中小河川がはん濫しました。 名取市では、軽傷１人、全壊２棟、半壊２棟、一部損壊８棟、床上浸水 946 棟、床下浸水 1,737 棟、河川の損壊 15 か所、道路の損壊 129 か所、がけ崩れ 35 か所などの被害がありました。 渡り廊下の浸水※1 （愛島小学校） 愛島地区では、小学校や公民館などの浸水、裏山の崩壊や土砂崩れなどが発生し、半壊２世帯、一部損壊７世帯、床上浸水 38 世帯、床下浸水 95 世帯の被害が発生しました。
東日本大震災 平成 23 年(2011 年) 3月 11 日 **（名取市で震度６強）**	マグニチュード 9.0 の巨大地震により、強い揺れが約３分間継続し、巨大津波などにより 923 人の市民が犠牲になりました。 ４月７日の深夜には、名取市で震度６弱の余震も発生しました。 愛島地区では、一部建物に全半壊、屋根瓦の落下、地盤沈下などがありました。 駐車場の地盤沈下※2 （愛島塩手付近）
令和元年東日本台風 （台風第 19 号） 令和元年（2019 年） 10 月 12 日～13 日 **（累計雨量 350 mm）**	台風 19 号の接近・通過に伴って、広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮が発生しました。宮城県には大雨特別警報が発表され、記録的な大雨により、河川のはん濫や土砂災害、浸水などがありました。 名取市では、一部損壊 24 棟、床上浸水 44 棟、床下浸水 144 棟の被害がありました。

※1　「名取市デジタルアーカイブ」から引用　、※2　「東日本大震災アーカイブ宮城」から引用

4．愛島地区の災害対応

地区で想定する災害

- 愛島地区では、過去に地震、水害のそれぞれで大規模災害が発生しています。このような**大規模災害は、いつ、どこで、どのような形で発生するかわからないため、日頃から大規模災害への備えが必要**です。
- また、近年の異常気象により、各地でこれまで経験したことのないような豪雨が多発していることから、**９・22集中豪雨災害を上回る規模の水害が発生することも考えられます。**川内沢川、志賀沢川がはん濫した際は、地区の大半が浸水する恐れがあります。愛島台、愛島郷などの高台は、浸水の可能性は低いですが、高台以外では浸水被害に遭う可能性があり、注意が必要です。
- 直下型地震による建物被害や経験したことのない大雨（時間雨量100mm 以上）などに備え、防災対策を行いましょう。

愛島地区で心配されること

- 「高台では水害時に孤立する」、「大雨、河川の増水による水害」、「水路の水があふれて道路へ浸水する」、「道路の冠水や、避難経路の寸断」、「がけ崩れや倒木の被害」、「地震による水道管の破損に伴う断水」、「山林火災」、「過去に大きな災害の経験が少なく、想定外の災害が起きた際の対応に不安がある」などがあげられます。

災害から命を守るために

自分の命は自分で守る！

- 災害が発生したら「名取市民防災マニュアル」とこの「愛島地区防災マニュアル」に基づいて、まず「自分の命は自分で守る」ように対応しましょう。

家族や町内会で避難場所を確認しましょう！

- 「愛島地区防災マップ【洪水浸水予測版】」（Ｐ14～Ｐ17に掲載）で、浸水などの危険な場所、施設や公園などを確認し、日頃から家族や町内会で避難場所、避難経路、集合場所、安否確認方法などを確認しておきましょう。

～「指定避難所」と「指定緊急避難場所」～

「指定避難所」と「指定緊急避難場所」の違いは次の通りです。

名称	記号	説明
指定 避難所		災害により自宅へ戻れなくなった人たちが一時的に滞在する施設です。被災した人が次の住まいを確保するまでの間、生活する場所になります。 愛島地区では、４か所指定されています。（裏表紙に掲載）
指定緊急 避難場所		災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定されます。 指定避難所が指定緊急避難場所を兼ねることもあります。 愛島地区では、風水害で７か所指定されています。（裏表紙に掲載）

※お住まいの地域によっては、地区内の避難所より、地区外の避難所への避難の方が安全な場合もあります。安全な場所に避難することを優先しましょう。

風水害から命を守るために

■対応の基本

- テレビ、ラジオなどからの気象情報などに注意し、万が一に備える。
- 自宅などの浸水しない安全な場所に避難する。（待避）
- 避難所、知人宅、宿泊施設など安全を確保できる場所に**水平避難**する。
- 早めに避難し、浸水してからの避難は極力避ける。
- 急な降雨や浸水など、外に避難することがかえって危険な場合は、建物の安全を確認し、自宅や建物の２階以上に**垂直避難**する。

日頃の備え

- 自宅の保全や、自宅周辺の危険箇所や飛散するものがないかの確認、非常持出品・備蓄品の定期的な確認など、日頃から備えておきましょう。
- 側溝や排水溝などを掃除し、水の流れをスムーズにしておきましょう。
- 日頃から防災意識を高め、災害時には自ら情報を得て**「自分の命は自分で守る」**行動ができるようにしましょう。

災害が予想されるとき

- テレビ、ラジオなどで気象庁から発表される警報・注意報や、市からの情報に注意しましょう。
- 市からの高齢者等避難、避難指示は、防災行政無線と『なとらじｆｍ80.1ＭＨｚ』、緊急速報メール、テレビのテロップ、ホームページなどで伝達します。

緊急速報メールやテレビのテロップで市からの高齢者等避難、避難指示を知った場合は、『なとらじｆｍ80.1ＭＨｚ』で、市からの情報を入手してください。
（事前に受信できるか確認しておきましょう。）

- **台風が接近しているときや、豪雨の危険性があるときは、むやみに外出しないようにしましょう。**

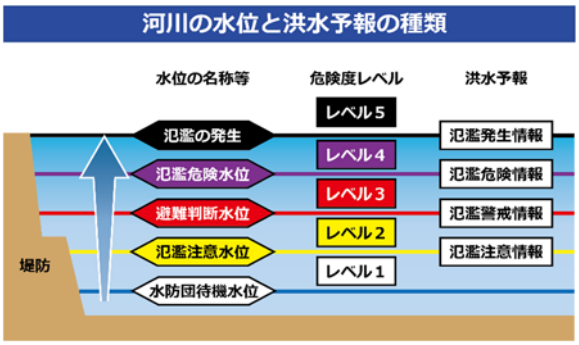
早めの避難

- 早めの避難を心がけることが重要です。
- **暗くなってからや浸水してからの避難は極力避けましょう。**
- **「警戒レベル４」（P19に掲載）までに必ず避難しましょう。**
- 道路が冠水している場合、車の運転は路肩の崩落や脱輪、さらには流される危険があります。**道路が冠水している場合は、車での避難は避けましょう。**
- **車の退避については、事前に車両の緊急避難場所を確認し（裏表紙に掲載）、早めに避難しましょう。**

冠水時の運転は危険

河川の近くでは十分に注意を

- 川内沢川は、国土交通省の『川の防災情報』、河川情報センターによる『川の水位情報』のホームページで、水位・ライブカメラ映像が確認できます。
- 志賀沢川は河川情報センターによる『川の水位情報』のホームページで、水位が確認できます。水位と併せてはん濫に関する基準水位も表示してありますので、参考にしましょう。
- 「名取市からの情報とさまざまな情報の入手先」（P20、P21に掲載）にも上記の入手先を掲載しています。



※国土交通省資料に基づき作成

～名取市から発令される避難情報について～

災害対策基本法の改正により、市が発令する避難情報の運用が変更になりました（令和３年（2021 年）５月 20 日施行）。

これまでの、警戒レベル３「避難準備・高齢者等避難開始」は**「高齢者等避難」**、警戒レベル４「避難勧告」と「避難指示（緊急）」は**「避難指示」**、警戒レベル５「災害発生情報」は**「緊急安全確保」**として運用されています。

警戒レベル３「高齢者等避難」では、避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は危険な場所から避難しましょう。また、高齢者等以外の人は、避難の準備、避難所開設の情報収集を行いましょう。

警戒レベル４「避難指示」では、危険な場所から全員避難しましょう。

※最新の気象情報や市の発信する情報に注意しましょう。

～樽水ダムと放流サイレンについて～

樽水ダムは、洪水調節容量 200 万トンを有し、洪水調節（流入水をダムにためること）により洪水になることを防ぎますが、大雨によりダムへの流入が増え満水になると、洪水調節が行えなくなり、増田川にはん濫の恐れが出ます。

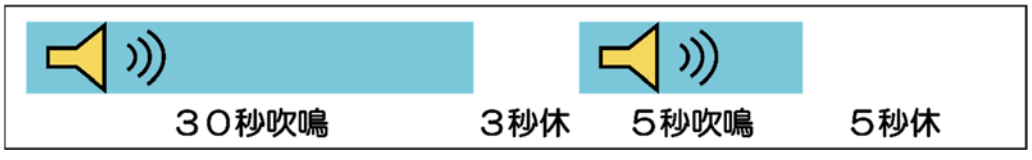
樽水ダムの状況と増田川の水位（上増田観測所）は、次により確認できます。

宮城県土木部総合情報システム
https://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi_sp/

宮城県　土木部総合情報　検索

近隣の地区には手倉田警報所（名取市手倉田字堰根 469－３）があり、大雨などで樽水ダムから水を流すときは、放流の合図としてサイレンが鳴ります。

サイレンが聞こえたら、川に近づかないようにしましょう。



サイレンの吹鳴パターン（３回繰り返し）

地震から命を守るために

■対応の基本

- まず自分と家族の身を守る。
- 地域の公園など安全な場所に避難し、町内会、自主防災組織等で安否確認を行う。
- 集会所で炊き出しなどを行う。
- 避難行動要支援者などを支援する。

まず身を守る！　慌てずに落ち着いて行動！

- 緊急地震速報や揺れを感じたら身を守り、夜間は、停電になっても慌てずに、けがをしないように落ち着いて行動しましょう。
- 宮城県沖地震の教訓から、外にいるときや避難の際はブロック塀など倒れやすいものに気をつけましょう。

揺れが収まったら、火元の確認、出入り口の確保、隣近所に声掛け、情報入手

- 火元や家族の安全を確認しましょう。
- 揺れが収まった後に、窓や戸を開け、出入り口を確保しましょう。
- 隣近所に声を掛け、お互いの安全を確認しましょう。高齢者宅には、積極的に声掛けをしましょう。
- テレビやラジオ、インターネット（スマートフォンやパソコン）などで地震情報を入手しましょう。
- 避難などで家を離れる場合は、「通電火災」に備えてブレーカーを「切り」ましょう。

～「通電火災」～

「通電火災」とは、地震による停電が復旧した際に、損傷した電気機器や電気配線から発生する火災です。電気機器の周辺に燃えやすいものがあると、引火する恐れがあります。

避難の判断

- 揺れを感じたら、身の安全を確保したのち各種情報を確認しましょう。情報入手は、「名取市からの情報とさまざまな情報の入手先」（P20、P21に掲載）を参考にしましょう。
- 自宅建物の被害の程度や個人の状況により避難の有無を判断しましょう。
- 自宅が安全と判断した場合も、いつでも避難できるように準備しておきましょう。
- 避難する場合は、避難経路に沿って速やかに避難しましょう。
- 避難の際、家から出るときには屋根からの落下物に注意しましょう。

■町内会・自主防災組織等の対応

自主防災組織等をつくった町内会は、発電機や投光器、応急担架やリヤカー、炊き出し用具、拡声器などの防災資機材の準備が望まれます。災害時には、それらの資機材を活用し、事前の役割分担に従い、次の応急対策を行いましょう。

安否確認、避難誘導

- 大きな地震では、隣近所で声を掛け合い、安否確認を行いましょう。家屋などに倒壊の恐れがある場合は、避難場所まで避難誘導を行いましょう。

情報収集や情報伝達

- 地域を回り被害状況を把握し、役員で情報の共有を図り、救助要請が必要な場合は、市や消防に連絡しましょう。

初期消火、救出・救護活動

- 消防など（公助）が到着するまで、無理のない範囲で救出活動を行いましょう。なお、余震に注意しましょう。

集会所など一時避難所の開設、炊き出し

- 食料や飲料水を持ち、集会所や公園などに避難し、声を掛け合い、余震が収まるのを待ちましょう。また、防災資機材を活用し、炊き出しなどを行いましょう。

指定避難所などの運営協力、避難行動要支援者の支援

- 指定避難所などでの協力や、避難行動要支援者の支援を行いましょう。

■地区全体の対応

情報の集約

- 大規模災害発生時には、地区全体の情報を集約します。
- 公民館と小学校には、市との連絡を行うため、移動無線が配置されています。
- 愛島台二丁目集会所と公民館を結ぶ簡易無線があります。
- また、地区の班内での緊急連絡網、メールシステム運用が整備され、トランシーバーが配置されています。

地区全体の対応

- 愛島地区自主防災組織連絡協議会または自主防災組織ごとに、地区の状況を市災害対策本部（緊急の場合には警察、消防など）に通報し、市の対応方針に基づき、協議会等はこの方針に協力するためのとりまとめを行います。
- 各地域に自主防災組織が管理している防災倉庫があり、資機材の貸し出しができます。
- また、インターネットやスマートフォンでの情報収集に不慣れな高齢者などに対し、『なとらじｆｍ80.1ＭＨｚ』を利用するなどの情報提供方法を決めます。

津波から命を守るために

- 愛島地区では津波の恐れは少ないものの、沿岸部へ外出した際は、津波に巻き込まれる可能性があります。河川を遡上する津波にも気をつけましょう。
- 下記の津波の基本対応を参考にしましょう。

■対応の基本

- 強い揺れや長い揺れを感じたら、津波を想定してすぐに逃げる。
- 津波から命を守るために率先して避難する。
- 『津波避難の３原則』を意識する。

避難の判断

- 揺れを感じたら、身の安全を確保したのち津波の有無を確認しましょう。情報入手は、「名取市からの情報とさまざまな情報の入手先」（P20、P21に掲載）を参考にしましょう。
- 今いる場所が安全と判断した場合も、いつでも避難できるように準備しておきましょう。
- 避難する場合は、避難経路に沿って速やかに避難しましょう。
- 避難の際、家から出るときには屋根からの落下物に注意しましょう 。

～津波避難の３原則～

津波避難の３原則は、東京大学大学院の片田敏孝特任教授が提唱するもので、東日本大震災の大津波襲来の際に釜石市内の児童・生徒が忠実に実行した結果、多くが無事であった事例から、防災教育で繰り返し教えられているものです。

津波から命を守るためには、「素早い避難」が重要です。

原則１．想定にとらわれるな！
原則２．その状況下で最善を尽くせ！
原則３．率先避難者たれ！

名取川を遡上する津波※

巨大津波にのみこまれていく
仙台空港※

※　「名取市デジタルアーカイブ」から引用

5．愛島地区の災害予防

みんなで災害予防活動に取り組みましょう。

個人でできること（自助）

転倒防止対策の実施

- 阪神・淡路大震災では、多くの人が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。**大地震が発生したときには家具は必ず倒れるものと考え**、転倒しないよう固定しましょう。
- 倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、配置や向きを工夫しましょう。
- なるべく背の低い家具にし、寝室や子ども部屋にはできるだけ家具を置かないようにしたり、高いところには重い物を置かないようにしましょう。
- タンスや食器棚などの扉が開かないようにすることも有効です。
- つっぱり棒、L 字型金具、マットを用いて、本棚・家具などを固定する方法もあります。
- 図書の落下防止策として、本棚に自転車荷台用ゴムロープを張ることも有効です。
- 転倒防止器具をつけている場合は、固定状況の（定期的な）確認をしましょう。
- 地震時に食器が落下しないよう、棚の棚板にシートを敷くことも有効です。

家具の固定

高いところに
重いものを置かない

地震時の火災防止対策の実施

- ストーブを使用するときは、ストーブの上に洗濯物をかけないようにしましょう。
- 電気のコンセント周りにほこりがたまらないように定期的に掃除しましょう。

災害に対する話し合い、事前の取り決め

- この「愛島地区防災マニュアル」や「名取市民防災マニュアル」などを見ながら、家族で避難方法や避難場所を事前に話し合いましょう。
- 家族が一緒の場合だけでなく、ばらばらのときの集合場所や連絡方法も確認しておきましょう。

臨機応変に避難場所を変える

- 避難所は多くの人が集まることから、密になりがちです。感染症対策のため、分散避難することも考えましょう。
- 在宅避難または知人宅への避難など、臨機応変に避難場所・避難方法を変えましょう。
- 東日本大震災では、車中泊の事例もありました。やむを得ず車中泊をする場合は、エコノミークラス症候群などに注意しましょう。

家族の基本状況の把握

- 家族の基本情報として、家族の生年月日、血液型、かかりつけの病院や連絡先などを防災カードに記録し、いざという時に使用できるよう、いつでも携帯しておきましょう。
- また、自宅の構造や周辺の様子、災害備蓄品なども防災メモとして記録しておき、家族間で共有しましょう。
- 防災メモ、防災カードは、「我が家の防災メモ・防災カード」（P23、P24に掲載）を活用しましょう。

非常持出品と災害備蓄品の準備

- 自分で持てる程度の非常持出品を用意するとともに、いざという時のために災害備蓄品として、飲料水や食料、懐中電灯や携帯ラジオ、救急用品などを準備しましょう。
- 備蓄品は、**「家族の人数×３日分」**が目安です。大規模災害発生時には、「１週間分」が望ましいとされています。
- 備蓄品の賞味期限や充電の確認など、定期的に点検し、更新しましょう。

内閣府 『災害に対する ご家庭での備え』		https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html 内閣府　備蓄　検索

- 備蓄品については、「ローリングストック法」が有効とされています。ローリングストック法とは、購入・備蓄・消費を繰り返す備蓄方法のことです。普段の買い物で、少し多めに購入しておき、使った分は補充していくことで、常に一定量の備蓄を行うことができます。

防災訓練への参加

- 自主防災組織や地区で開催される防災訓練に参加してみましょう。
- **訓練をしておくと、いざというときに行動に移すことができます。**

名取市総合防災訓練
（令和３年（2021 年）10 月）

町内会・自主防災組織等でできること（共助）

「自分たちの地域は自分たちで守る」ために、町内会・自主防災組織等で協力しましょう。

災害時の役割分担の確認

- 町内会・自主防災組織等の中で、安否確認や避難誘導などの役割分担を確認しましょう。なお、自分の身の安全が確保できている前提で、共助を行いましょう。

地区防災訓練の実施

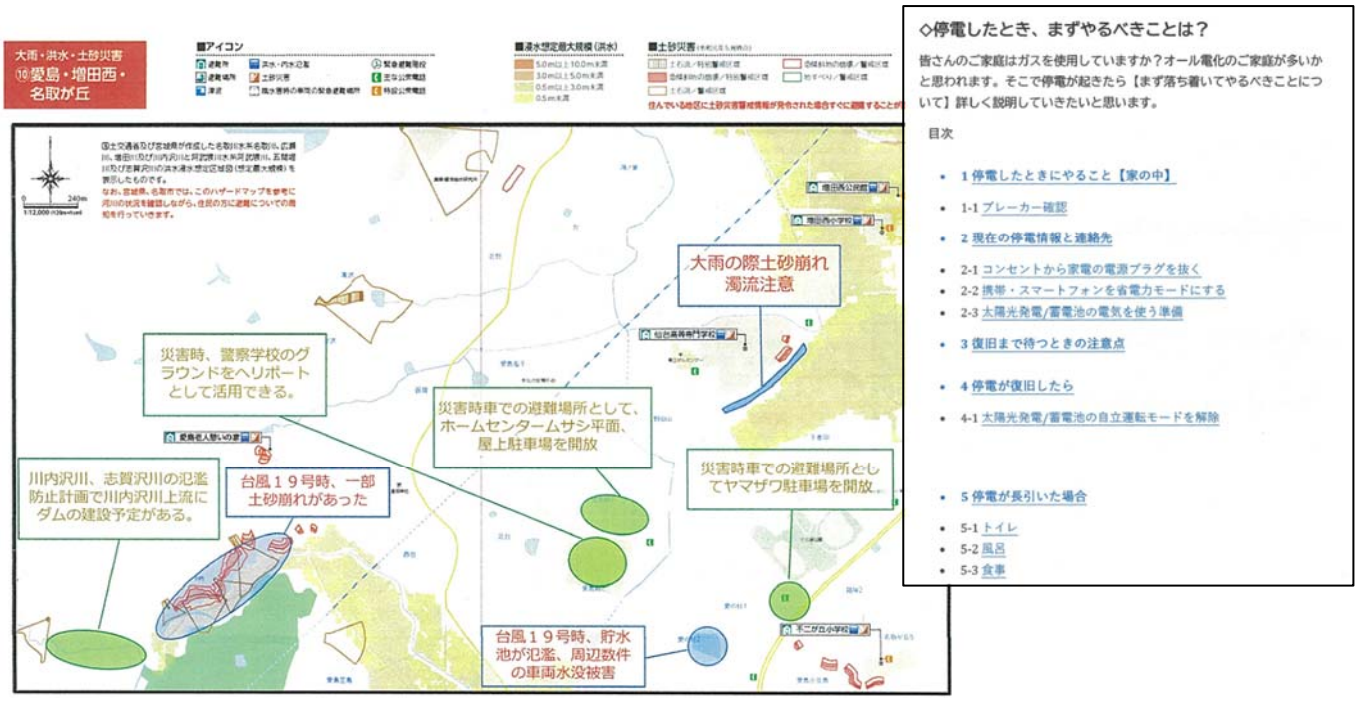
- いざというときに落ち着いて行動できるように、避難、初期消火、応急手当などの防災訓練を実施するとともに、家具の転倒防止などの啓発を行いましょう。
- 避難所となる学校や公民館などを使用して、防災訓練を行うことも有効です。

地区防災講座・防災研修会の実施

- 地区防災講座や防災研修会を企画し、情報交換を行うことにより自主防災活動のさらなる向上を目指しましょう。
- 令和３年（2021年）７月に、公民館・地域団体主催の「地域ふれ愛防災講座」が開催されました。講座では、防災用品の使用体験や防災クイズラリーなどを通して、防災に関する知識の習得と、地域住民同士の交流が図られました。

地域の取り組み

- 愛島郷では、令和２年度（2020年度）に「愛島郷防災資料」を作成し、配布しています。



「愛島郷防災資料」より抜粋

- 町内会によっては、全家庭で防災ラジオを設置したり、災害時に各家庭を訪問し、声掛けと見回りを行っているところもあります。
- 地域によっては、災害時行動指針を作成し、災害の種類によって役員などの役割決めをしているところもあります。
- 地域で照明器具、調理器具などの備蓄品を整備しているところもあります。
- 愛島台では、周辺企業と定期的に情報交換し、連携を図っています。

避難行動要支援者への支援方法の検討

- 日頃から市と連携して、高齢者などの避難行動要支援者への支援方法を考えておきましょう。
- 避難行動要支援者名簿は、市と町内会等が協定を締結した場合に、市から町内会等に提供されます。
- 個別避難計画については、現在市が作成の要領について検討中です。

コミュニケーションの促進

- 高齢者や若い人たちも含め、地区内の全世代の人が参加しやすい行事を企画し、会員相互の親睦を深めましょう。

防災資機材の整備

防災倉庫

- 地域の状況に応じて、地区集会所などに食料・水などの備蓄品、防災資機材などを整備し、いざというときに使用できるようにしておきましょう。
- 指定避難所などには防災倉庫が設置されています。

消防庁 『自主防災組織の手引』		https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/items/bousai_2904.pdf 消防庁　自主防災　検索

行政などの災害対応（公助）

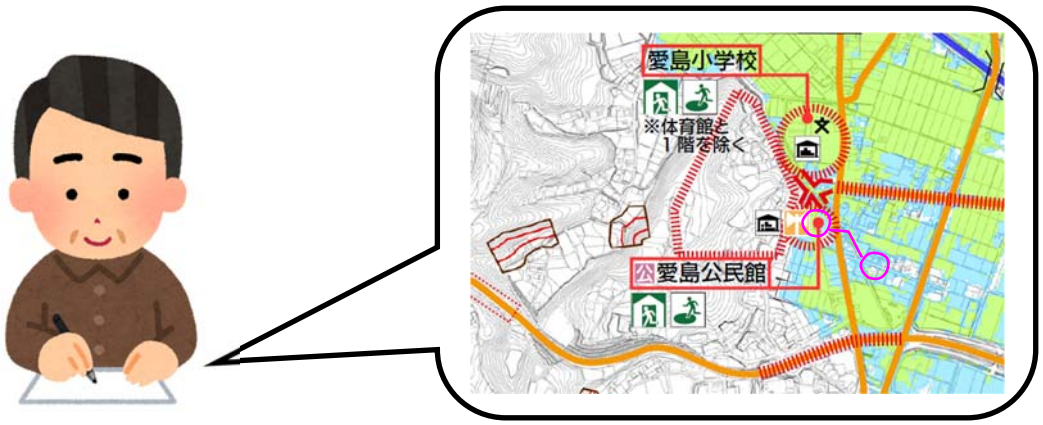
名取市、警察、消防、自衛隊では、災害発生時には以下のような公助を行っています。

- 名取市では、災害対策本部が、災害に対する対応方針を定め、災害応急対策や復旧復興対策を行います。
- 警察、消防、自衛隊の役割として、人命救助、復旧支援などを行います。

6．愛島地区防災マップ

防災マップに書き込みましょう

- 防災マップに、自宅の場所の印をつけ、家族で話し合った避難場所にも印をつけましょう。
- 自宅から避難場所までの避難経路も書き込み、実際に避難経路を通ってみて、危険な場所、安全な場所を確認しておきましょう。
- なお、**マップに示す浸水範囲・深さは「想定以上の規模（マグニチュード）の地震が発生した場合」や、「雨の降り方などの気象条件や土地利用条件」によってはマップに示された浸水範囲よりも広くなることや、浸水深が深くなる場合がありますので注意が必要です。**



～洪水浸水予測　「想定最大規模」について～

「想定最大規模」の降雨量は河川などの面積と降雨継続時間により算定されており、名取川では 607mm／２日間、増田川・川内沢川では 747mm／１日間となっています。

「想定最大規模」の降雨規模は 1000 年に１回程度を想定しており、１年の間に発生する確率が１／1000（0.1%）以下の降雨です。

毎年の発生確率は小さいですが、規模の大きな降雨であることを示しています。

～外水はん濫　と　内水はん濫について～

「外水はん濫」とは、台風や大雨などにより川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊することで、市街地に水が流れ込む現象です。

P14～17 に掲載している**「防災マップ～洪水浸水予測版～」は、この「外水はん濫」による浸水想定範囲および浸水深を示しています。**

また、「内水はん濫」とは、市街地などに降った雨が下水道の雨水処理能力を超えたり、雨で川の水位が上昇して市街地などの水を川に排出することができなくなった際に、市街地に水があふれてしまい建物や土地が水に浸かる現象です。

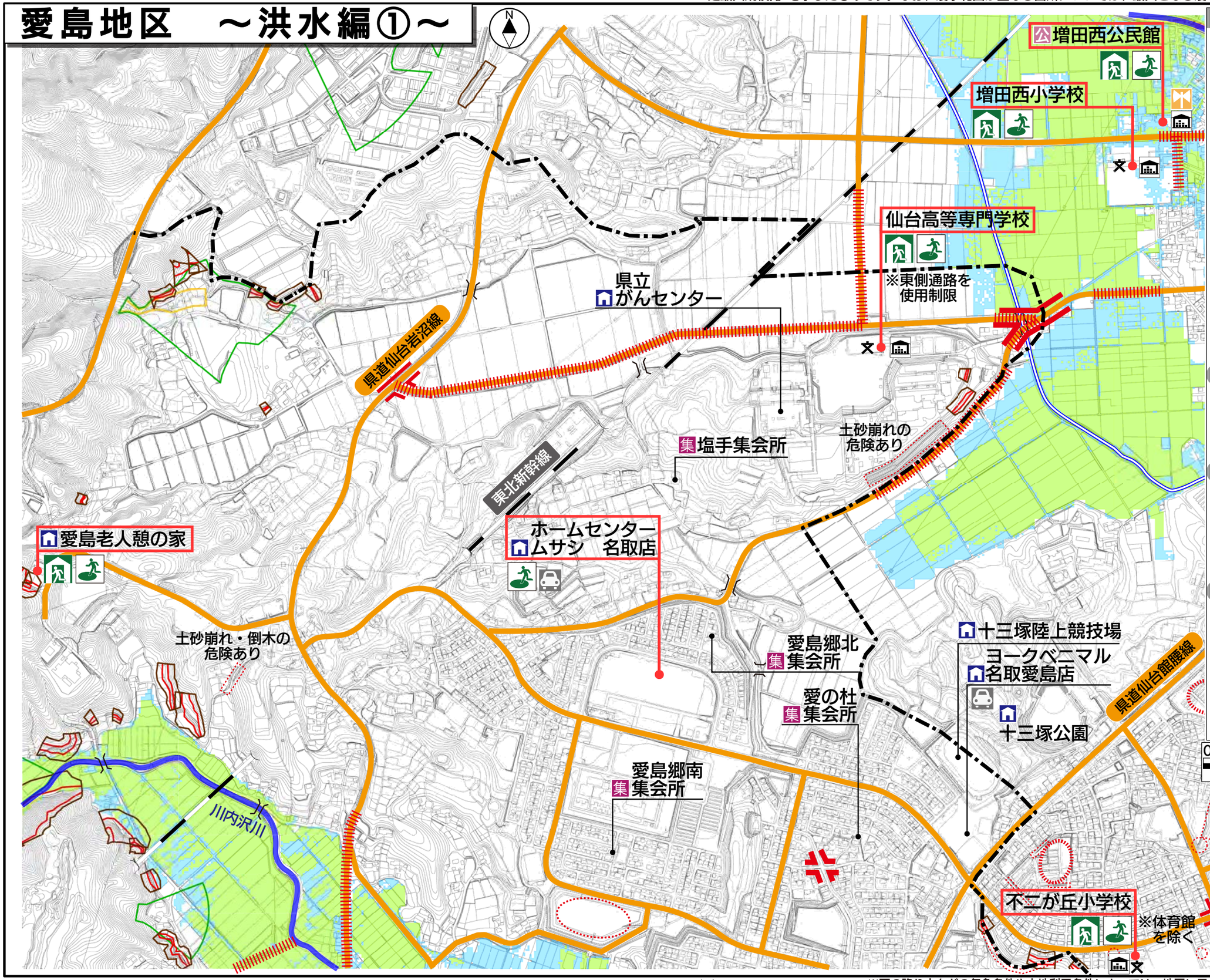
名取市 『内水ハザードマップ』※		https://www.city.natori.miyagi.jp/soshiki/kensetsu/gesui/usui/node_64789 名取市　内水ハザードマップ　検索

※下水道計画対象区域のみの計画降雨基準による内水ハザードマップであり、
水防法に基づく想定最大規模降雨を基準とした内水ハザードマップではありません。

6．愛島地区防災マップ【洪水浸水予測版】

※このマップの浸水深は、「名取川」「阿武隈川」（平成 28 年（2016 年）6 月　国土交通省公表）および、「増田川・志賀沢川」（令和 2 年（2020 年）8 月　宮城県公表）、「川内沢川」（令和 3 年（2021 年）5 月　宮城県公表）の『洪水浸水想定区域図（想定最大規模）』を示したものです。なお、浸水範囲が重なる箇所については、最大となる浸水深を示しています。

愛島地区　～洪水編①～



※雨の降り方などの気象条件や土地利用条件によっては、地図に示された浸水範囲よりも広くなることや、浸水深が深くなる場合があります。

6．愛島地区防災マップ【洪水浸水予測版】

※このマップの浸水深は、「名取川」「阿武隈川」（平成 28 年（2016 年）6 月　国土交通省公表）および、「増田川・志賀沢川」（令和 2 年（2020 年）8 月　宮城県公表）、「川内沢川」（令和 3 年（2021 年）5 月　宮城県公表）の『洪水浸水想定区域図（想定最大規模）』を示したものです。なお、浸水範囲が重なる箇所については、最大となる浸水深を示しています。

愛島地区　～洪水編②～

愛島郷南 集会所
ヨークベニマル 名取愛島店
十三塚陸上競技場
不二が丘小学校
※体育館を除く
笠島集会所
愛島小学校
※体育館と１階を除く
愛の杜 集会所
県道仙台館腰線
公愛島公民館
県道愛島名取線
川内沢川
小豆島生活センター
弘誓寺
県道愛島名取線
県道仙台館腰線
県道仙台岩沼線
北目区生活センター

凡　例
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 風水害時の車両の緊急避難場所
- 防災行政無線
- 防災倉庫
- 集会所
- 公民館
- その他施設

○想定される浸水深
- 5.0～10.0m ※3階床上～4階軒下浸水
- 3.0～5.0m ※2階床上～軒下浸水
- 0.5～3.0m
- 0.0～0.5m

凡　例
- 主要道路
- 河川
- 用水路
- 橋
- 地区境界

○地区の意見
- 冠水しやすい交差点
- 冠水しやすい道路・場所
- 斜面や法面

○土砂災害警戒区域
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害特別警戒区域（土石流）

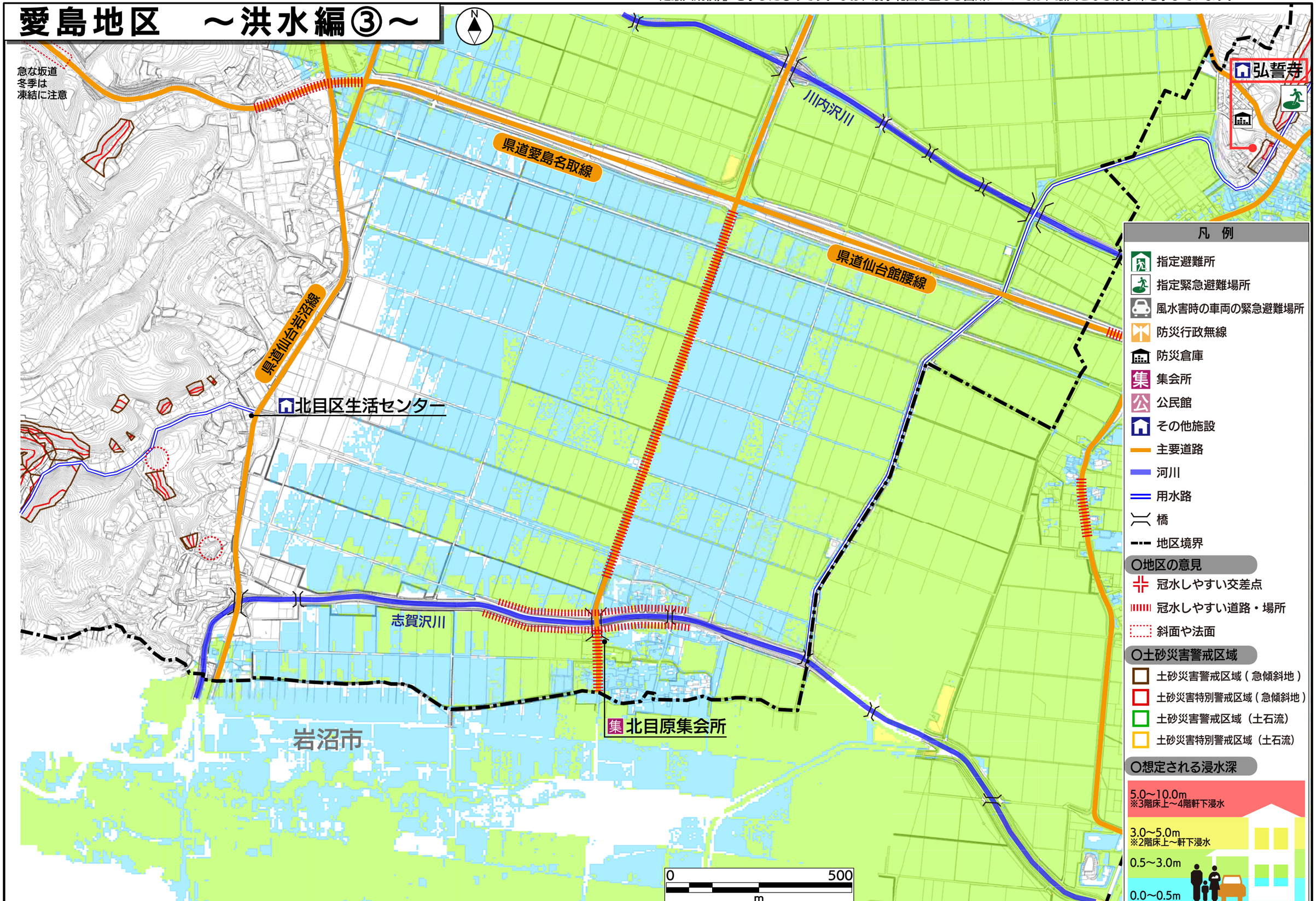
0　500　m

※雨の降り方などの気象条件や土地利用条件によっては、地図に示された浸水範囲よりも広くなることや、浸水深が深くなる場合があります。

6．愛島地区防災マップ【洪水浸水予測版】

※このマップの浸水深は、「名取川」「阿武隈川」（平成 28 年（2016 年）6 月　国土交通省公表）および、「増田川・志賀沢川」（令和 2 年（2020 年）8 月　宮城県公表）、「川内沢川」（令和 3 年（2021 年）5 月　宮城県公表）の『洪水浸水想定区域図（想定最大規模）』を示したものです。なお、浸水範囲が重なる箇所については、最大となる浸水深を示しています。

愛島地区　～洪水編③～

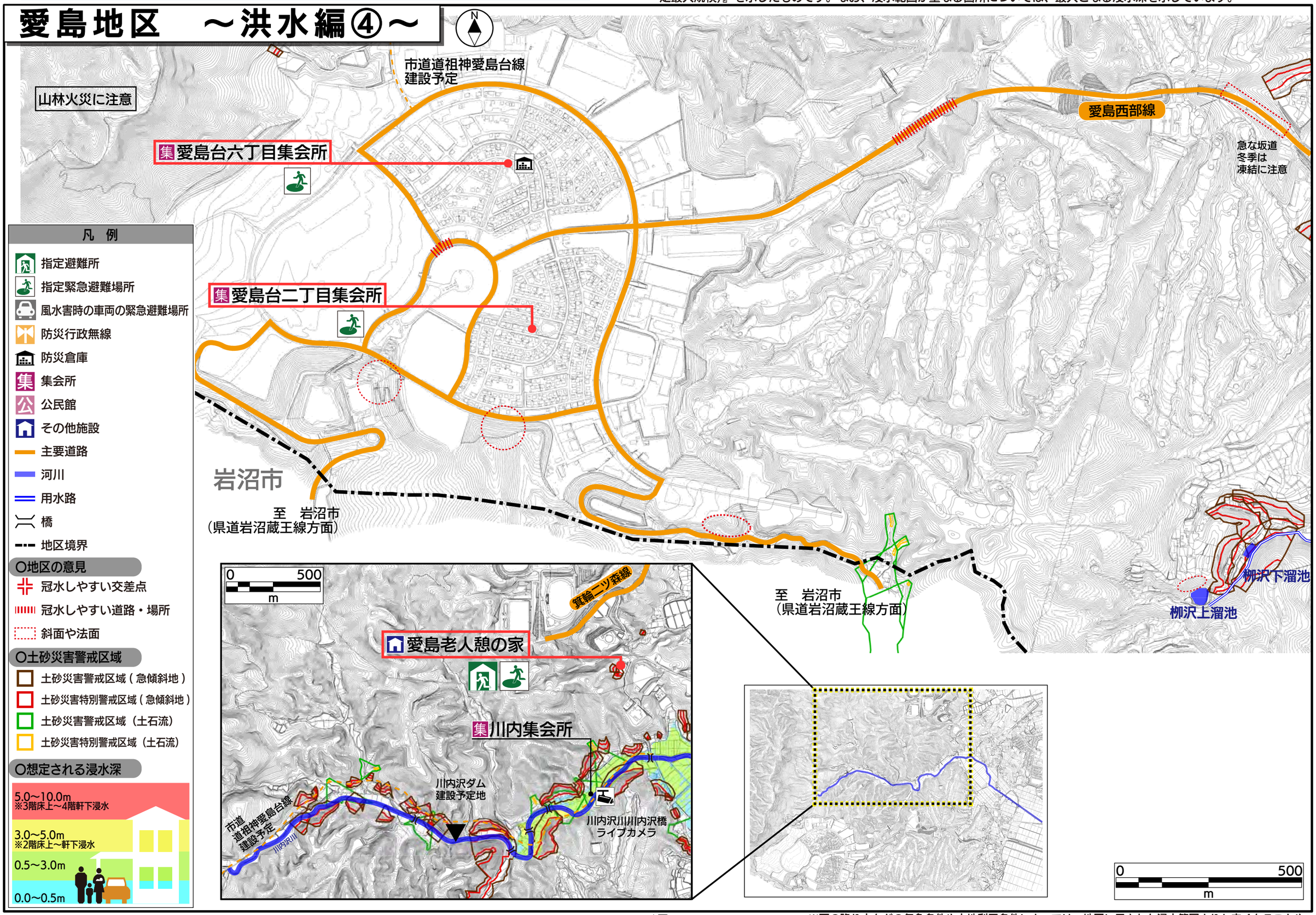


※雨の降り方などの気象条件や土地利用条件によっては、地図に示された浸水範囲よりも広くなることや、浸水深が深くなる場合があります。

6．愛島地区防災マップ【洪水浸水予測版】

※このマップの浸水深は、「名取川」「阿武隈川」（平成 28 年（2016 年）6 月　国土交通省公表）および、「増田川・志賀沢川」（令和 2 年（2020 年）8 月　宮城県公表）、「川内沢川」（令和 3 年（2021 年）5 月　宮城県公表）の『洪水浸水想定区域図（想定最大規模）』を示したものです。なお、浸水範囲が重なる箇所については、最大となる浸水深を示しています。

愛島地区　～洪水編④～



※雨の降り方などの気象条件や土地利用条件によっては、地図に示された浸水範囲よりも広くなることや、浸水深が深くなる場合があります。

6．愛島地区防災マップ【津波浸水予測版】

津波浸水予測編　～広域表示～

※このマップの浸水深は、東日本大震災規模の津波の状況をシミュレーションにより平成 29 年（2017 年）12 月に予測したものです。

河川を遡上する津波に注意！

N

県道名取村田線
宮城県農業高等学校
元中田警報所
スーパーセンター トライアル名取店
東北本線
県道塩釜名取線
国道４号線仙台バイパス
増田体育館・グラウンド
増田交番
名取市消防署
第二中学校
県道名取村田線
公 増田公民館
増田川
公 増田西公民館
※体育館と１階を除く
増田小学校
県道閖上港線
東北新幹線
みやぎ生活協同組合 名取西店
名取駅
増田 防災広場
名取市役所
休日夜間急患センター
増田西小学校
手倉田警報所
保健センター
名取北高等学校
仙台東部道路
仙台高等専門学校
市民活動 支援センター
増田中学校
※東側通路を使用規制
※１階を除く
市民体育館
名取市文化会館
第一中学校
社せきのした駅
イオンモール（株） イオンモール名取
仙台空港アクセス線
県道塩釜亘理線
ホームセンタームサシ 名取店
まなウェルみやぎ
上増田 警報所
県道杉ケ袋増田線
十三塚公園
県道仙台館腰線
公 下増田公民館
潜匠建設（株）
十三塚陸上競技場
公 名取が丘公民館
増田川
耕谷警報所
下増田関下線
ヨークベニマル 名取愛島店
国道４号線仙台バイパス
関下増松線
下増田小学校
寺野 警報所
名取中央スマート IC
館腰小学校
※体育館と１階及び西側を除く
※体育館と１階を除く
八間堀
不二が丘小学校
※体育館を除く
集 植松集会所
※１階を除く
県道愛島名取線
弘誓寺
川内沢川
公 館腰公民館
※風水害時を除く
館腰交番
館腰駅
まるたま名取店
県道愛島名取線
県道仙台館腰線
川内沢川植松 ライブカメラ
県道仙台空港線
川内沢川
仙台空港 IC
東北本線
国道４号線仙台バイパス
仙台東部道路
集 本郷集会所
ダイナム名取店 ゆったり館
志賀沢川
みやぎ生活協同組合岩沼店
(株) フクベイフーズ
(株) ミヤコーバス 名取営業所
トラック協会仙南支部
※1 階を除く
五間堀川

0　1 km

※想定以上の規模（マグニチュード）の地震が発生した場合などは、地図に示された浸水範囲よりも広くなることや、浸水深が深くなる場合があります。

凡　例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 津波緊急避難場所
- 風水害時の車両の緊急避難場所
- 防災行政無線
- モーターサイレン
- 防災倉庫
- 集 集会所
- 公 公民館
- その他施設
- 主要道路
- 仙台東部道路
- 河川
- 用水路
- 橋
- 踏切

○土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）

○想定される浸水深

- 20.0m～
- 10.0～20.0m
- 5.0～10.0m
- 3.0～5.0m
- 1.0～3.0m
- 0.5～1.0m
- 0.3～0.5m
- 0.0～0.3m

7．マイ・タイムラインシート

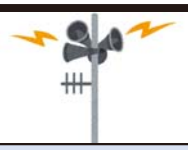
マイ・タイムラインとは、台風や大雨などの風水害の発生に備えて、一人ひとりの家族構成や生活環境などに合わせて、あらかじめ作成する自分自身の避難行動計画のことです。
自分や家族の行動について、「いつ」「だれが」「何をするのか」を時系列で整理することによって、いざという時にあわてず、安全に避難できるよう、「自分の逃げ方」を見つけましょう。

時間の目安	気象情報	名取市の行動	住民の皆さんの行動	自分や家族がどう行動するのか記入してみましょう。 マイ・タイムライン	時間の目安
3日前	□台風の進路予報	警戒体制の整備 □消防署、消防団など関係機関との連絡・調整 □情報収集、パトロール、施設点検 □水防資機材、土のうの準備 □休校などの判断、体制の確認	□テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報の確認 □家族間の連絡 □非常用持出品の準備 □自宅周辺の安全確認 ・側溝の清掃 ・飛びやすいものの片付け ・窓の飛散防止（テープで固定など）		3日前
2日前					2日前
1日前	□大雨注意報・洪水注意報発表	□水防団待機			1日前
18時間前	水防団待機水位到達 名取川：水位 5.5m（名取橋観測所）※1 増田川：水位 1.2m（上増田観測所）※2 阿武隈川：水位 4.0m（岩沼観測所）※3	警戒本部又は警戒配備の体制 □水防団出動 □自主避難所の開設、周知	避難ルートの検討 □ハザードマップで避難所、避難ルートの確認。 （避難先は、必ず避難所とは限りません。自宅２階以上への垂直避難や、より安全な知人宅もあります。）		18時間前
15時間前	氾濫注意水位到達 名取川：水位 6.5m（名取橋観測所） 増田川：水位 1.7m（上増田観測所） 阿武隈川：水位 5.0m（岩沼観測所）	警戒レベル２相当 避難に備え自らの避難行動を確認 災害対策本部又は特別警戒本部の体制	自主避難開始 ※自主避難所を開設する場合は、開設場所、開設時間を、事前に市から周知します。		15時間前
12時間前	□大雨警報・洪水警報発表 避難判断水位到達 名取川：水位 8.3m（名取橋観測所） 増田川：水位 2.0m（上増田観測所） 阿武隈川：水位 7.9m（岩沼観測所）	警戒レベル３相当 高齢者等避難 □避難所開設・運営 □情報伝達 ⇒防災行政無線、広報車、ホームページ、なとり防災メール、防災ラジオ、エフエムなとり（なとらじ fm80.1MHz）、フェイスブック、テレビ（dボタン） など □避難所の追加開設（必要に応じ）	□避難所開設情報の確認 高齢者や障がい者、小さなお子様のいる家庭など、避難に時間がかかる方は避難開始 □高齢者等以外の方は避難の準備 □避難所開設情報の確認 ※全ての避難所を開設するということではなく、左記の情報伝達手段（詳細はＰ20, 21 に掲載）により確認してください。		12時間前
6時間前	□土砂災害警戒情報 氾濫危険水位到達 名取川：水位 9.2m（名取橋観測所） 増田川：水位 2.5m（上増田観測所） 阿武隈川：水位 8.2m（岩沼観測所）	警戒レベル４相当 避難指示 □情報伝達　上記に同じ	危険な場所から全員避難 避難完了		6時間前
3時間前	『警戒レベル４』までに必ず避難！				3時間前
0	大雨特別警報発表	警戒レベル５ 緊急安全確保 □情報伝達 （命を守る最善の行動をとること）	すでに災害が発生しています。 命を守る最善の行動をとってください。 周辺の状況によっては屋外にでることは危険な場合があります。		0
氾濫発生					氾濫発生

※1：名取橋観測所：仙台市太白区大野田大橋本
※2：上増田観測所：飯野坂一丁目
※3：岩沼観測所　：岩沼市阿武隈

8．名取市からの情報とさまざまな情報の入手先

日頃から、情報の種類と入手先を確認しておきましょう。

<table>
<tr><td rowspan="8">名取市からの情報</td><td>防災行政無線</td><td>市役所と各地区公民館などに設置した、屋外スピーカー（屋外拡声子局）から放送を流します。
  </td></tr>
<tr><td>モーターサイレン</td><td>沿岸部の３か所（日和山中継局、名取市斎場、下増田雨水ポンプ場）に設置したモーターサイレンから、大津波警報や津波警報の発表をお知らせします。</td></tr>
<tr><td>防災ラジオ</td><td>エフエムなとり（なとらじ fm80.1MHz）を通じて、自動で起動・同調する緊急告知ラジオを有償配布しています。
 </td></tr>
<tr><td>なとり
防災メール</td><td>市民の皆さんの安全の確保、不安の解消に役立てていただくよう、緊急時に地震・防災情報などをメール配信しています。受信するためには登録が必要です。
メールで
登録する方法
登録フォームから
登録する方法
https://natori.e-msg.jp/bousai/</td></tr>
<tr><td>名取市防災情報
Twitter</td><td>https://twitter.com/natoricitybosai
名取災害　ツイッター　検索</td></tr>
<tr><td>名取市災害時
Twitter
ハッシュタグの利用</td><td>大規模災害発生時の情報収集の手段の一つとして、名取市災害用ハッシュタグ「＃」を利用しましょう。
https://www.city.natori.miyagi.jp/soshiki/soumu/bousai/node_73114
名取市災害　ハッシュタグ　検索</td></tr>
<tr><td>名取市民
防災マニュアル</td><td>（電子ブックデータ版）
https://www.city.natori.miyagi.jp/bousai-manual2020/
（PDF）
https://www.city.natori.miyagi.jp/soshiki/soumu/bousai/node_71052
名取市民防災マニュアル　検索</td></tr>
<tr><td>なとりマップ</td><td>名取市の土砂災害警戒区域等箇所や浸水想定区域図（想定最大規模）などのハザードマップを閲覧することができます。
https://www.sonicweb-asp.jp/natori/
なとりマップ　検索</td></tr>
</table>

なお、名取市公式のホームページやフェイスブックでも様々な情報を発信しています。

さまざまな情報の入手先

国土交通省 川の防災情報 （名取川、阿武隈川）	https://www.river.go.jp/ 国交省　川の防災　検索
一般財団法人 河川情報センター 川の水位情報 （増田川、川内沢川、志賀沢川、五間堀川）	https://k.river.go.jp/ 川の水位情報　検索
気象庁 仙台管区気象台	https://www.jma-net.go.jp/sendai/ 仙台管区気象台　検索
気象庁 地震情報	https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/index.html 気象庁　地震情報　検索
気象庁 台風進路情報	https://www.jma.go.jp/bosai/map.html 気象庁　台風情報　検索
気象庁 キキクル	大雨・洪水警報の危険度分布を配信しています。 http://www.jma.go.jp/bosai/risk/ 気象庁　キキクル　検索
逃げなきゃコール	アプリを活用して地域を登録すると、災害情報通知を受け取ることができます。大切な人に逃げなきゃコールしましょう。 http://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html 逃げなきゃコール　検索
テレビ（地上デジタル）dボタン	ご家庭のテレビで確認できます。 リモコンのｄボタンを押すと、 データ放送画面が表示されます。
緊急速報メール	NTT ドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイル、ワイモバイルの携帯電話に送信されます。 ※情報は発信時点で市内にいる人に配信されます。また、機種により、設定が必要なものや受信できないものがあります。
災害用伝言ダイヤル １７１	家族などの安否確認ができます。 １７１にダイヤル 伝言を残す　1　→　電話番号を入力　→　伝言を吹き込む 伝言を聞く　2　→　電話番号を入力　→　伝言が再生される 被災地にいる人の電話番号（市外局番から） 携帯電話、PHS、IP 電話の番号を入力してください。

～ＱＲコード～
スマートフォンやタブレットなどで読み取れます。
Android のカメラまたは Google レンズで撮影　iPhone のカメラで撮影

～「指定避難所」の開設・運営への協力について～

名取市では東日本大震災当日、約 50 か所の避難所（臨時避難所含む）に約１万１千人が避難し、停電で真っ暗な中、余震などで不安な夜を過ごしました。長期の避難生活を余儀なくされた方は、地域の皆さんの温かい支援などにより、避難所の自主運営を行いました。

避難所運営には、地域住民や避難者の皆さんの協力が不可欠です。災害に備えて、普段から避難した後の行動や生活をイメージしておきましょう。

避難所が開設されたら、市や施設職員、自主防災組織に協力をお願いします。

【指定避難所の安全確認、避難所の開設・避難者の収容】

- 市職員や施設職員が建物の安全確認を行います。
- 指定避難所では、建物の安全が確認されるまで、なるべく町内会ごとに建物の外で待機し、職員などの指示に従い避難所に入ってください。

【初期の避難生活】

- 避難人数の確認、避難者名簿の作成、簡易トイレの設置、市からの食料・物資の配布などについて、協力をお願いします。小・中学校と公民館などには市の防災倉庫があり、発電機や投光器、簡易トイレなどの備蓄品が配備されています。

【長期の避難生活】

- 町内会などの単位で班を編成し、避難所自主運営組織を作り、役割分担を定め、避難生活を行います。
- 救援物資は、発災直後は届きません。市の備蓄物資のほか、各自で食料や防寒着、ミルクやオムツ、毛布などを持ち寄ることが重要です。

～避難所での感染症対策について～

避難所では多くの人が集まります。各自で感染対策を行い、すこしでも安心して過ごせるようルールを守り、助け合いながら生活を送りましょう。

マスク、消毒液、体温計などは個人で用意しておきましょう。

■マスクの着用　■定期的な換気
■手指の消毒　■定期的な清掃と、整理整頓
■咳エチケット　■衛生面に配慮したごみの分別

！！コロナ感染者はまず保健所に連絡しましょう！！

！！濃厚接触者の方は避難所の受付で申告し、職員の指示に従いましょう！！

～避難所の備蓄品や設備について～

市では、以下のものを備蓄しています。

（市役所で集中備蓄し、各避難所に無いものも含みます）

- 食事（アルファ米、ゼリー、ミルクなど）
- 睡眠（毛布、エアマットなど）
- 排泄（トイレ用薬剤、トイレ用テント、トイレ便座、トイレットペーパーなど）
- その他（アレルギー対応食、テント、パーティション、カイロ、
  おむつ：幼児用・大人用、生理用品、衛生用品など）

いざというときに使用できるよう、防災訓練で確認しましょう。

9．我が家の防災メモ・防災カード

防災メモ　ー家族の状況ー

氏　名 生年月日 血 液 型	かかりつけの病院 持 病 ・ 常 備 薬	携 帯 電 話 番 号 会 社 ・ 学校などの名称 会社・学校などの電話番号
年　月　日 型（Rh　＋・ー）		
年　月　日 型（Rh　＋・ー）		
年　月　日 型（Rh　＋・ー）		
年　月　日 型（Rh　＋・ー）		
年　月　日 型（Rh　＋・ー）		
避難場所		
家族の集合場所		

※ご家族の人数に合わせて、コピーして使いましょう。

防災メモ　ー我が家の状況ー

東日本大震災での状況	家具の転倒　有　・　無
平成６年（1994 年）　９・22 集中豪雨の時の状況	床上浸水　・　床下浸水　・　浸水なし
建築年	昭和　・　平成　・　令和　　年 ※昭和 56 年（1981 年）以前の建物は耐震診断を受けましょう
家屋の構造	平屋　・　２階以上　／　木造　・　軽量鉄骨
	平屋の場合：浸水時の避難先　［　　］
自宅の周辺	浸水しやすい地域に　ある　・　ない
	近くにがけや斜面などが　ある　・　ない
	風で飛ばされやすいものが　ある　・　ない
災害時の備え	非常持出品の用意　有　・　無
	災害備蓄品の用意　有　・　無
	携帯ラジオの用意　有　・　無
	消火器の用意　有　・　無

防災カード

家族の基本情報を書き込み、コピーしてかばんなどに携帯しましょう。

● 家族の基本情報

ふりがな
名前　：　続柄：

生年月日：　年　月　日

血液型　：　型（Rh　＋　－）

〒　－

住所

山折り

電話　携帯：　－　－
自宅：　－　－

勤務先または
通う学校　電話：　－　－

●伝えておきたいこと
お薬
持病
アレルギー
その他

● 家族の基本情報

ふりがな
名前　：　続柄：

生年月日：　年　月　日

血液型　：　型（Rh　＋　－）

〒　－

住所

山折り

電話　携帯：　－　－
自宅：　－　－

勤務先または
通う学校　電話：　－　－

●伝えておきたいこと
お薬
持病
アレルギー
その他

● 家族の基本情報

ふりがな
名前　：　続柄：

生年月日：　年　月　日

血液型　：　型（Rh　＋　－）

〒　－

住所

山折り

電話　携帯：　－　－
自宅：　－　－

勤務先または
通う学校　電話：　－　－

●伝えておきたいこと
お薬
持病
アレルギー
その他

● ペットの基本情報

ふりがな
名前　：　種類：

生年月日：　年　月　日　♂・♀

かかりつけ医

電話：　－　－

●伝えておきたいこと（特徴・病気・ごはんなど）

ふりがな
名前　：　種類：

生年月日：　年　月　日　♂・♀

かかりつけ医

電話：　－　－

●伝えておきたいこと（特徴・病気・ごはんなど）

災害時の緊急連絡先

区分	名称	電話番号
市役所	名取市役所	０２２－３８４－２１１１
警察　１１０	岩沼警察署	０２２３－２２－４３４１
消防　１１９	名取市消防本部	０２２－３８２－０２４２
名取市休日夜間急患センター		０２２－３８４－０００１
災害伝言ダイヤル		１７１

愛島地区の指定避難所

名称	住所	電話番号	収容人数（4m²/人）	開設する際の条件
愛島公民館	愛島笠島字上平 27	022-382-2422	220 人	－
愛島小学校	愛島笠島字東蔵神 34	022-382-2538	1,300 人	風水害時は、体育館と１階を除く
愛島老人憩の家	愛島塩手字岩沢 4-2	022-382-0642	50 人	－
仙台高等専門学校	愛島塩手字野田山 48	022-381-0253	400 人	東側通路を使用制限

愛島地区の指定緊急避難場所（風水害（土砂災害含む））

名称	住所	電話番号	収容人数（2m²/人）	開設する際の条件
愛島公民館	愛島笠島字上平 27	022-382-2422	440 人	－
愛島小学校	愛島笠島字東蔵神 34	022-382-2538	1,180 人	体育間と１階を除く
愛島老人憩の家	愛島塩手字岩沢 4-2	022-382-0642	100 人	－
仙台高等専門学校	愛島塩手字野田山 48	022-381-0253	800 人	東側通路を使用制限
愛島台六丁目集会所	愛島台六丁目 14-2	－	27 人	－
愛島台二丁目集会所	愛島台二丁目 14-5	－	27 人	－
ホームセンタームサシ名取店	愛島郷一丁目 1-1	022-381-0634	470 人	－

愛島地区の風水害時の車両の緊急避難場所

名称	住所	電話番号	開設する際の条件
ホームセンタームサシ名取店	愛島郷一丁目 1-1	022-381-0634	屋上駐車場
ヨークベニマル名取愛島店	愛の杜一丁目 1-1	022-381-7511	地上駐車場

※指定避難所・指定緊急避難場所はいずれも令和４年（2022 年）３月現在。
収容人数は「名取市地域防災計画」より引用。

名取市総務部防災安全課

〒981－1292 名取市増田字柳田 80

電話 022－384－2111